

受講料無料


各担当課にご回覧をお願いいたします。

# 情報システムの調達に関するセミナー

主催：一般財団法人経済調査会 経済調査研究所

経済調査会では、情報システムの予算策定・調達に係る業務を支援するため、30年以上にわたって情報サービス分野の実態調査を行っています。今年3月に、これまでに得られた知見をとりまとめ、「情報システムの調達に係る見積標準」を公表いたしました。この度、この資料のご紹介に合わせて、情報システムの調達に係る方を対象としたセミナーを企画しました。情報システムの調達の勘所である「データマネジメント」「セキュリティ」そして「見積り」をテーマとしております。

ご多忙の折とは存じますが、是非ともご参加賜りますようお願い申し上げます。

日時

2022年12月13日(火)  
14:00～17:00

定員

100名(先着順)  
※オンライン形式(ZOOMを使用します)

【第1部】14:00～15:00

DX成功のためのデータマネジメント  
「データ活用推進におけるメタデータ管理の必要性」

講師：伊藤 洋一 株式会社データ総研 エグゼクティブシニアコンサルタント

【第2部】15:10～15:40

見積りの標準化を目指して  
「情報システムの調達に係る見積標準」

講師：大岩 佐和子 一般財団法人経済調査会 調査研究部 第二調査研究室長

※「情報システムの調達に係る見積標準」は [https://www.zai-keicho.or.jp/software\\_research/](https://www.zai-keicho.or.jp/software_research/) で無償公開しています。

【第3部】15:50～16:50

クラウドの課題を克服する  
「クラウドにおける責任共有モデルとクラウド利用者の  
セキュリティの課題」

講師：諸角 昌宏 一般社団法人 日本クラウドセキュリティアライアンス 理事  
CSA リサーチフェロー

お問い合わせ  
お申込み

一般財団法人経済調査会 調査研究部 第二調査研究室

メール: [software@zai-keicho.or.jp](mailto:software@zai-keicho.or.jp) TEL: 03-5777-8212

※ 申込み方法は中面をご参照下さい。 FAX: 03-5777-8227

# 開 催 要 領

項目	内容
1. テーマ / 講師	<p>&lt;第1部&gt; 14:00 ~ 15:00 (質疑応答 15:00~15:10)            ~ DX成功のためのデータマネジメント ~  <b>「データ活用推進におけるメタデータ管理の必要性」</b></p> <p>講師：伊藤 洋一            株式会社データ総研 エグゼグティブシニアコンサルタント            (著書)「DXを成功に導くデータマネジメント データ資産価値向上と問題解決のための実務プロセス75」(共著) 翔泳社</p> <p>&lt;第2部&gt; 15:10 ~ 15:40 (質疑応答 15:40~15:50)            ~ 見積りの標準化を目指して ~  <b>「情報システムの調達に係る見積標準」</b></p> <p>講師：大岩 佐和子            一般財団法人経済調査会 調査研究部 第二調査研究室長</p> <p>&lt;第3部&gt; 15:50 ~ 16:50 (質疑応答 16:50~17:00)            ~ クラウドの課題を克服する ~  <b>「クラウドにおける責任共有モデルとクラウド利用者のセキュリティの課題」</b></p> <p>講師：諸角 昌宏            一般社団法人 日本クラウドセキュリティアライアンス 理事            CSA リサーチフェロー</p>
2. 開催日時	2022年12月13日(火) 14:00~17:00 (受付13:30より)
3. 開催方法	オンライン形式 (ZOOMを使用します)
4. 対象者	情報システムの整備・運用等の調達に係る方を対象とします。
5. 受講料	<b>無料</b>
6. テキスト	専用テキスト (無料)
7. 申込方法	4ページの「受講までの流れ」をご確認いただき、 <u>メールまたはファックスにてお申し込みください。</u>
8. 申込締切	定員 (100名) になり次第締め切らせていただきます。



## 第1部「データ活用推進におけるメタデータ管理の必要性」について

昨今、多くの企業では、データ活用の促進を経営戦略の中核に据えられています。

しかし、いざ進めてみると、アナリティクスに必要なデータが揃わず、データ活用が促進されないという問題が出てきました。その背景に以下の点が挙げられています。

- ・どこに何のデータがあるのか分からない
- ・データ項目の意味がわからない
- ・誰が作ったデータで、何のためにあるのかわからない

ここでメタデータ管理の登場です。メタデータはデータ活用者にとって辞書のようなものであり、適切に管理していくことがデータアナリティクスにも必須となります。

本講演では、はじめにDX推進におけるデータマネジメントの必要性をご理解いただき、そのデータマネジメントに欠かせないメタデータ管理について、管理の目的・管理方法・管理を担う人材の育成方法をお話します。

### < 構成 >

1. DX推進になぜデータマネジメントが必要なのか？
2. データ利活用の促進に必要なメタデータとは何か？
3. メタデータの管理はどのように行うべきか？
4. 求められるスキルは何か？
5. 人材育成はどのように行うのか？

## 第2部「情報システムの調達に係る見積標準」について

経済調査会が今年の3月に公表した「情報システムの調達に係る見積標準」は、情報システムの整備・運用等に係る経費について、「見積り手順の明確化」「用語の定義の統一」「見積書式の標準化」を目的に、見積り徴収から予定価格の算定までの標準的な手順等を取りまとめたものです。

経済調査会が長年取り組んできた調査・研究の成果を踏まえ、情報システムのコスト構成の考え方やソフトウェア規模の定量的な把握方法等に関する情報を掲載しています。

本講演では、情報システムの整備・運用等の調達に係る方を対象として、見積りに関する基本的な考え方（見積りの精査や予算要求額の積算方法など）と、具体的活用方法（望ましい見積書の構成や、確認すべき根拠資料など）について説明します。

## 第3部「クラウドにおける責任共有モデルとクラウド利用者のセキュリティの課題」について

クラウドセキュリティの基本は責任共有モデルです。この責任共有モデルにおいて、クラウド利用者は、自身が直接セキュリティ対策を行うことと、クラウドサービスのセキュリティを評価することの両方を行い、説明責任を果たしていくことが求められます。本講演では、責任共有モデルを説明するとともに、クラウド利用者として取るべき対応について説明します。

### < 構成 >

1. クラウドセキュリティの基本である責任共有モデルの説明
2. クラウド利用者のセキュリティ対応における課題と対策
3. クラウド利用者がクラウドサービスのセキュリティを評価する際の課題と対策（CSAが提供する評価フレームワークの説明を含む）

< 参加申込書 >

下記のとおり申し込みます。

		申込日	2022 年 月 日
組織名		参加者 ※4名まで 記入いただけます。	① (代表者)
部署名			②
			③
			④
所在地	〒 (      -      )		
T E L		F A X	
メールアドレス (代表者)		受講証明書	必要 ・ 不要
今後の同様のテーマのセミナー開催について、上記のご連絡先宛てのご案内を辞退される場合は右記にチェックしてください。			<input type="checkbox"/> 不可
〔備考欄〕			

※ご記入いただいた個人情報はセミナーに関わる連絡の用途のみに使用し、一般財団法人経済調査会が適正に管理いたします。  
経済調査会のプライバシーポリシーについては、<https://www.zai-keicho.or.jp/privacy/> をご参照ください。

お申込み

上記の内容をメールまたはファックスにて下記までご連絡下さい。(本紙をファックスしていただいてもけっこうです。)

メール:ert12@zai-keicho.or.jp FAX:03-5777-8227

【受講までの流れ】

- ① メールまたはファックスでお申し込みください。
- ② 受付後に[申込受付メール]をお送りいたします。定員を超えた場合にはその旨のご連絡をいたします。申し込み後3営業日以内に連絡がない場合はお問い合わせ下さい。
- ③ セミナーはZOOM (<https://zoom.us/>) を使用します。以下の点をご確認ください。
  - ・ZOOM ミーティング ID・PW は、セミナー前日の12月12日(月)にメールにてご案内します。
  - ・ブラウザまたは、ZOOM をダウンロード(無料)したPC(パソコン)をご利用ください。  
ZOOM の紹介>>><https://zoom.us/>  
ZOOM ダウンロード>>><https://zoom.us/signup>
  - ・スマートフォンやタブレットでの参加も可能ですが、PC での接続を前提に進行する点をご了承ください。
- ④ セミナーに使用する専用テキストはセミナー前日の12月12日(月)までにメールにて配布いたします。
- ⑤ 当日は②のメールに記載の受講者番号でご参加下さい。
- ⑥ 音声・画像の設定は主催者の指示に従ってご参加下さい。
- ⑦ 受講証明書はセミナー終了後にお送りいたします。